

日本語訳 模試A リスニング

IELTS Listening 模試A | Part 1~4(設問訳+スクリプト訳)

PART 1 — 子ども連れの休暇に向くコテージ選びの相談

設問の日本語訳

以下の表を完成させなさい。

各空欄に、1語および/または数字1つで答えなさい。

コテージ名	場所	すすめる理由	その他のコメント
Rowan Barn	Milton Road沿い、川のそば	特に 1 に関心のある家族に向いている	かなり辺鄙な場所にある 古い馬小屋は現在 2 になっている
Kingfisher	Ashdown Lane、港の向かい	3 のツアーが毎朝港から出る	オーナー夫妻はとても親切 小道には駐車できない 4 はかなり前に予約が必要
The 5	6 の突き当たりにある	有名な 7 がかつて住んでいた 暖房はすべて 8 発電でまかなわれている	8月は1泊 £ (問9) Wi-Fi接続はおそらく 10

スクリプトの日本語訳

女性: 夏休みに子どもたちを連れて行ける場所を探しているの。できれば海の近くのコテージがいいな。去年あのあたりに泊まらなかった?

男性: 泊まったよ。決めるまでにいくつか見て回ったんだ。予約する寸前までいったのがRowan Barn。お店から遠く離れていてもかまわないなら、おすすめだよ。

女性: 正確にはどこにあるの?あのあたりの地理はまったくわからなくて。

男性: Milton Road沿いで、川のすぐそば。農場の建物を改装したところだよ。

女性:子どもが楽しめるものはある?うちの子たちは毎日サイクリングをしたがると思うんだけど。

男性:サイクリングコースはあるけど、ひどくぬかるむから、それが目当てなら選ばないな。君の子たちにすすめる本当の理由は野生動物だよ。オーナーが双眼鏡を貸してくれて、子どもたちは庭から見えたものを観察シートに記録できるんだ。

女性:喜びそうだね。

男性:唯一の難点はかなり辺鄙なこと。いちばん近い村まで車で20分ほどかかる。それと夜はゲームルームが……いや、待って、別の場所と勘違いしてた。Rowan Barnにあるのは、古い馬小屋を改装した小さな映画室だ。夕食後は好きなときに使えるよ。

女性:そのほうがもっといいわね。ほかに見た場所はあった?

男性:Kingfisherも候補になるよ。Ashdown Laneにあって、港の真向かいなんだ。

女性:昔ながらの漁村ということ?じゃあ子どもたちは漁船に乗れるわね。

男性:漁船のツアーは数年前にやめてしまったんだ。でもセーリングのツアーが毎日朝いちばんに港から出ていて、沖の島々まで行って戻ってくるよ。

女性:それでも十分だね。

男性:経営している夫婦は本当に親切で、着いたら手作りのケーキが用意されていたよ。ただし注意点が2つ。小道そのものには駐車できないから、パブの裏の駐車場に車を停める必要がある。それから、崖沿いの列車の旅に興味があるなら、列車はかなり前に予約すること。夏はチケットが何週間も前に売り切れるんだ。バスのほうが席は取りやすいけど、眺めは大したことないよ。

女性:覚えておくわ。3つ目の場所もあると言っていたわよね?

男性:そう、The Farleigh。ネットにはほとんど情報がなくて、そこも魅力のひとつなんだ。

女性:つづりは?

男性:F-A-R-L-E-I-G-H。

女性:場所はどこ?海岸沿いの幹線道路?

男性:全然違うよ。海岸道路を折れて未舗装の小道に入ると、その突き当たりに家がある。最後の半マイルは、とても道路とは呼べない状態だね。

女性:すごく静かそう。何が特別なの?

男性:ちょっとした歴史があるんだ。屋内に絵がたくさん飾ってあったから画家が住んでいたんだと思い込んでいたけど、違った。あれは家の持ち主だった詩人のコレクションで、その人はどうやらかなり有名な。30年以上そこで書き続けたそうだよ。

女性:ロマンチックね。でも快適に過ごせるの?ああいう古い家は夏でも凍えるほど寒いことがあるでしょう。

男性:そこが意外なところでね。居間に薪ストーブはあるけど、ほとんど飾りのようなもので、家全体が太陽光発電で暖められているんだ。ガスはいっさい使っていない。

女性:すごいね。でも高いんでしょう?

男性: 先週ちょうど調べたんだ。1泊95ポンドだと記憶していたけど、それは冬料金だとわかった。8月なら120ポンドだね。

女性: コテージ丸ごとでその値段なら悪くないわ。最後にもうひとつ。滞在中に少し仕事をしないといけなの。あそこのインターネット環境はどう?

男性: 正直わからないけど、あれだけ谷の奥だと接続は弱いんじゃないかな。予約する前にオーナーに確認する価値はあるよ。

女性: そうするわ。おかげで検討材料がそろったわ.....

PART 2 — Greenbank 市民農場の紹介(モノログ)

設問の日本語訳

問11～16: 正しい記号A、B、Cを選びなさい。

11 この農場が最初に作られた目的は

- A 地元のレストランに食材を供給するため
- B 学校団体に農業体験をさせるため
- C 使われていない土地を再利用するため

12 農場の動物について、話者は何と言っているか

- A 大半は以前、別の農場にいた
- B 大半はGreenbankで生まれた
- C すべてこの地方に典型的な品種である

13 話者によると、新人ボランティアが最も苦勞するのは

- A 早朝の始業に慣れること
- B 重い肉体作業をこなすこと
- C 安全ルールをすべて守ること

14 新しい温室について、話者は何と言っているか

- A 地元企業が費用を出した
- B ボランティアが自分たちで建てた
- C デザインが賞を取った

15 今年、農場で変わったことは何か

- A 開場時間が以前より長くなった

B 見学が少人数のグループで行われるようになった

C 入場が有料になった

16 毎日の終わりにボランティアがすべきことは

A その日の作業を記録する

B 道具を片付けて施錠する

C 動物に新鮮な水を与える

問17～20: 下の地図にラベルを付けなさい。正しい記号A～Gを、問17～20の横に書きなさい。

17 菜園 18 ミツバチの巣箱 19 ピクニックエリア 20 売店

スクリプトの日本語訳

皆さん、こんにちは。Greenbank City Farmへようこそ。私はMartinといい、ここでボランティアプログラムを運営しています。敷地を歩いて回る前に、この農場のことと、ボランティアの仕事の中身を少しお話しし、それからお配りした地図で各施設の場所を示します。

まず、少し歴史の話を。この農場は、この地区のカフェやレストランに食材を供給するために作られたと思われるがちです。実際にそのうちの2軒には野菜を売っていますが、それはずっと後になってからのこと。この土地は20年近く放置されていて、市議会がようやく「何か有益なことに使うべきだ」と決断しました。それがGreenbankの始まりです。今では学校団体の受け入れが活動の大きな柱ですが、その部分は少しずつ育っていったものです。

次に動物について。この地方の伝統的な希少種がいると期待して来られる方もいて、2種は飼っています。ただ、ここにいる動物の大半は、閉鎖したり世話を続けられなくなったりした他の農場からやって来ました。Greenbankは彼らの第二の家なんです。自分たちで繁殖させた動物はごくわずかです。

新人ボランティアの皆さんは、何が待っているのか気になっているでしょう。いちばん大変なのは早朝の始業だと想像されがちですが——夏は6時開始です——意外にも、それを嫌がる人はほとんどいません。掘ったり運んだりの作業は確かに重労働ですが、たいていの人は2週間ほどで慣れます。本当につまづくのは、安全手順をすべて覚えることです。数が多いうえ、例外は認めていませんから、最初のうちは焦らないでください。

見学の途中で、新しい温室に気づくはずですが。建てたときは大きな反響があって、デザイン誌に記事が載ったほどです。園芸店チェーンから全額出資の申し出もありましたが、断りました。あらゆる意味で自分たちのものにしたいからです。パネルの一枚一枚まで、うちのボランティアが2回の夏をかけて組み上げました。

今年から変わったことがひとつ。以前は最大30人の団体で見学していただいていたのですが、正直なところ、少し混乱気味でした。現在、ツアーは12人までに制限しています。入場料の導入も検討はしましたが、当面は無料のままです。開場時間は以前とまったく同じです。

それから、連絡事項をひとつ。1日の終わりに、動物の水の心配はいりません。夕方のスタッフが水槽を確認しますし、道具小屋の施錠は当番の責任者がやります。全員にお願いしたいのは、業務日誌をつ

けること。その日にやった作業と、何か気づいた異変を数行書くだけです。ささいなことに聞こえますが、問題を早く見つけるにはこれがいちばんなんです。

では、農場の地図を見てください。私たちが今いるのは、下端の入口です。

まず菜園。入ってすぐの納屋方面への分かれ道は無視して、中央の道をまっすぐ進んでください。池にさしかかる少し手前、右手に柵で囲われた一角があります。そこが菜園です。

ミツバチの巣箱は納屋の裏にあると思う方が多いですね。以前はそうだったんですが、ハチと人の出入りが多い建物は相性が悪いので移しました。中央の道をそのまま進んで池を通り過ぎ、敷地のいちばん奥まで行くと、右手の角にあります。

ピクニックエリアは迷いようがありません。入口を入れて、すぐ左手です。

最後に売店です。当初はカフェの隣に作る計画でしたが、スペースが足りないとわかりました。そこで古い搾乳場を改装したんです。納屋の方へ進んでそのまま行くと、納屋のすぐ先、柵の手前の建物がそれです。

さて、私の話はこのくらいで。ではついて来てください。納屋から見学を始めましょう……

PART 3 — 食品廃棄プロジェクトの打ち合わせ

設問の日本語訳

問21～24: 正しい記号A、B、Cを選びなさい。

21 Joshがこのプロジェクトのテーマに食品廃棄を選んだ理由は

- A 学生新聞の記事で読んだから
- B ルームメイトが計測を提案したから
- C 働いている場所でその問題を目にしたから

22 アンケート結果について、Emmaが驚いたことは

- A 大半の学生が自分の廃棄量を実際より少なく見積もっていた
- B 予想より多くの学生が回答した
- C 多くの学生が盛り付け量を批判した

23 計量調査で2人が直面した問題は

- A データを記録する時間が足りなかった
- B 機材が信頼できなかった
- C 厨房スタッフが非協力的だった

24 2人がプレゼンの冒頭にする事で合意したのは

- A 短い動画
- B 聴衆への質問
- C 全国レベルの統計

問25～27: レポートの以下の各セクションについて、2人はどうすることに決めたか。枠内から3つ選び、記号A～Eを問25～27の横に書きなさい。

A 短くする B 最近の研究を加える C 資料を巻末付録に移す D そのままにする E 指導教員の意見を聞く

25 文献レビュー 26 アンケート結果 27 提言

問28～30: フローチャートを完成させなさい。各設問につき1語のみで答えなさい。

学食での実証実験の計画

第1段階: 1週間、残された食品を分類し、毎日 28 を記録する。

第2段階: 利用者がカウンターで希望する 29 のサイズを決める。

第3段階: 毎日の数値を、学食入口近くの 30 に表示する。

スクリプトの日本語訳

エマ: ジョシュ、金曜に指導教員のヒューズ先生に会う前に、プレゼンとレポートの両方の内容を整理しておかないと。

ジョシュ: そうだね。どこから始める？

エマ: そういえば、ずっと聞きたかったんだけど。そもそも食品廃棄に目をつけたきっかけは、学生新聞のあの記事だったの？

ジョシュ: 読んだことは読んだけど、あれが理由じゃないんだ。学食の厨房での夜のシフトだよ。毎晩ゴミ箱に捨てる量ときたら、信じられなかった。

エマ: てっきりルームメイトに説得されたんだと思ってた。

ジョシュ: 彼は「ちゃんと計測すべきだ」と言い続けてたけど、それは後の話。僕がもう決めた後だったから。

エマ: 選んでくれてよかったわ。アンケートは面白い結果になったし。返送はほとんどないだろうと思っていて、案の定、回答率は低かった。でも設問5を見て。ほぼ全員が、自分の廃棄量を実際よりずっと少なく見積もってる。そこに本当に驚いたの。

ジョシュ: わかるよ。僕はみんな盛り付け量のせいにすると思ってたけど――

エマ: ――実際、そういう人も多かった。でもそれは予想どおりでしょう？

ジョシュ: 確かに。それにしても、計量調査は2人とも予想以上の重労働だったね。

エマ: はかりはちゃんと動いてくれたけど。学科の機材は問題なかった。厨房のスタッフも、これ以上ないくらい協力的だったし。

ジョシュ: 僕らを打ち負かしたのは夕食のピークだよ。数秒おきにトレイが戻ってきて、次が来るまでに何かを書き留める余裕なんてまったくなかった。レポートには正直にそう書くべきだね。

エマ: 賛成。さて、プレゼンの話。冒頭は大きな数字で始めようと思ってたの。年間何トン、みたいな。

ジョシュ: でも、みんな数字で始めるんだよね。聴衆の半分はそこで聞くのをやめる。埋立地の動画クリップも考えたけど、10分のうち2分も食われてしまう。

エマ: じゃあ、どうするの？

ジョシュ: こっちから聞くんだ。今週自分がどれだけ食べ物を捨てたか、全員に予想してもらおう。それから実際の平均を見せる。

エマ: それは目が覚めるわね。それでいきましょう。

ジョシュ: よし。次はレポートの下書き。ヒューズ先生、僕の文献レビューに書き込みだらけにしてたよ。

エマ: 6ページは正直長いもの。先生の言うとおりの。思い切って削って2ページくらいにすれば、議論の流れがずっと追いやすくなる。

ジョシュ: 代わりに最近の研究をいくつか入れることも考えたんだけど、締め切りが来週じゃあ……

エマ: 時間がないわ。アンケート結果はどうする？表が15個もあるけど。

ジョシュ: レポートの真ん中であんな数の表を読みたい人はいないよ。本文には主要な2つだけ残して、残りは全部レポートの巻末に回そう。

エマ: いいわね。それと提言のセクション、あそこが気がかりなの。ケータリング会社に、ほとんど指図するような書き方になってる。

ジョシュ: うーん。学生が業者に直接注文をつけていいのかわからないな。提出する前に、あのセクションをヒューズ先生に見てもらおう。

エマ: そうしましょう。最後に、来学期に提案する実証実験。フローチャートにしてみたの。

ジョシュ: 聞かせて。

エマ: 第1段階。1週間、スタッフがトレイで戻ってきたものをすべて分類して、毎日重さを記録する。トレイの数を数えるだけでなく、実際の重さをね。

ジョシュ: 豆が数粒残ったトレイと、食べ物が一皿分まるごと残ったトレイでは違うもんね。了解。

エマ: 第2段階では、配膳カウンターを変える。全員に決まった一皿を出すんじゃなくて、欲しい量を言ってもらおう。つまり自分で盛り付け量を選ぶの。

ジョシュ: 僕はまだ小さめの皿のほうが効くと思うけど——そういう研究もあるし——ケータリングの責任者は選ばせる案が気に入ってるから、それでいこう。

エマ: そして第3段階。効果が見えないと、1週間で熱が冷めてしまう。最初はレジ横のポスターを考えたんだけど、ポスターって2〜3日で誰も見なくなるのよね。

ジョシュ: だったら入口のスクリーンを使おう。メニューを映してるあれ。その日の数値を毎日昼に出せばいい。

エマ: そのとおり。じゃあ、スライドの分担を決めましょうか……

PART 4 — 都市の街路樹についての講義

設問の日本語訳

以下のノートを完成させなさい。各設問につき1語のみで答えなさい。

都市の樹木

初期の歴史

・樹木が都市の通りに植えられた当初の目的は、もっぱらその 31 のためであり、その効果が研究されるのはずっと後のことだった

利点

気温:

・葉から放出される水蒸気は、暑い時期に周辺の 32 を数度冷やすことがある

・樹木が直射日光から守っている 33 は、良い状態がはるかに長く保たれる

雨水:

・根と周囲の土が、そのままなら排水溝に直行するはずの雨水を蓄えるため、34 が起こる可能性が大幅に下がる

健康:

・ある研究では、病室のベッドから樹木が見えた患者は手術後の回復が早く、求める 35 の量も少なかった

・住んでいる通りに樹木があると、人々のとる 36 の量が増える

問題点

・金額として最も大きい損害は目に見えない場所で起こる: 地面の下の 37 に(根が)侵入することがある

・38 は最も危険な時期で、枝が下の車や人に落ちてくることもある

・このため、街路樹は年に1回点検される

管理

・各樹木の樹種・樹齢・状態などの情報は、市全体の1つの 39 に集約されている

・若木のそばのセンサーが土中に保持されている 40 の量を示し、これが下がりすぎたときだけ対処が行われる

スクリプトの日本語訳

皆さん、おはようございます。都市環境をテーマにした連続講義の最終回である今日は、街路樹の話します。都市はなぜ樹木を植え始めたのか、樹木は実際に私たちに何をもたらしているのか、そしてどのように管理されているのか、という話です。

まず、少しだけ歴史から始めましょう。都市の並木道に樹木が初めて登場したのは、主に18～19世紀のことですが、当時の都市計画者はすでに木陰や空気の質を考えていた、と想像するかもしれません。ところが、そこに科学的な根拠はまったくありませんでした。樹木は単に見た目のために植えられたのです。立派な大通りには、街灯と同じように緑が必要だった。それだけの話でした。

樹木が都市に実際どんな働きをしているのかを研究者が測定し始めたのは、ずっと後のことです。その結果は目覚ましいものでした。まず気温。成木は、いわば天然の冷却装置です。葉が水蒸気を放出するにつれて、木の周りの空気は目に見えて涼しくなります。暑い日の午後なら数度は下がります。

そして木陰そのものにも、意外な価値があります。アスファルトは強い日差しの下では劣化が早いので、大きな樹木に日陰を作ってもらっている道路は、日なたの道路に比べて再舗装の頻度がはるかに少なく済むのです。アメリカのある研究は、その節約額を1キロメートルあたり数千ドルと見積もりました。

次に雨です。土砂降りになると、水は屋根や舗装面を流れ落ちて排水溝に殺到し、排水が追いつかなくなることがよくあります。樹木がある場所では、根とその周りの土が水の多くをせき止めるので、洪水の危険が大幅に減ります。

健康への効果は、もしかするといちばん意外かもしれません。手術後の入院患者を対象にしたよく知られた研究では、窓から樹木が見えた患者は、レンガの壁に面した患者より退院が早く、しかも薬を求める量も少なかったのです。

日々の行動への影響もあります。並木のある通りでは、人はより遠くまで、より頻繁に歩くようになります。ひと言で言えば、運動量が増えるのです。各都市の保健部門はこの点にいち早く注目しました。

もちろん、良いことばかりではありません。次は問題点に移しましょう。

誰もが心配するのは、木の根が舗道を割ることです。確かにそれは起こります。ただ、本当に高くつく損害は目に見えないところで起きています。根は地下の配管に入り込むことがあり——特に古い管です——その種の修理は都市に毎年何百万もの費用を負わせています。

枝も心配の種です。危険な季節は冬だと思われがちで、確かに強い霜は木材を弱らせます。しかし、見た目には健康そのものの木でも、弱った枝を一年のいつでも前触れなく落とすことがあり、落ちてくる枝が車や通行人にとって現実的な脅威になるのは嵐のときなのです。点検チームが毎年入念に街路樹を調べているのは、そのためです。

では、現代の都市はこれらをどう管理しているのでしょうか。第一歩は、何がどこにあるかを把握することです。かつて市当局は紙のリストに頼っていました。地区の事務所に保管され、更新もめったにされな

いようナリストです。今では多くの大都市が、すべての街路樹を1本ずつ電子地図に記録しています。市全体を、木の1本ごとに。樹種、樹齡、高さ、状態——点検のたびにすべて更新されます。

そして、植えてから2～3年のうちに枯れやすい若木のために、さらに一歩進んだ都市もあります。地中の小さなセンサーが土の温度を記録し、さらに——こちらのほうがずっと役に立つのですが——土に含まれる水分の量を測るのです。管理チームは数値が下がったときだけ水やりをします。若木の生存率は以前の2倍になりました。

さて、残りの時間では、こうした原則が実践されている例として、シンガポールとコペンハーゲンの2つの事例を見ていきましょう……